



あなたに聞きたい!

文化センターの「つぶやき」ならぬ「ぼやき」で文化センターへの旅を...



三田村まつゑさん

今回は、きもの研究グループ日本民族衣裳源流会所属のかたわら、愉快なうちの婆つちやま一座の座長をされている三田村まつゑさんにお話を伺いました。

文化センター(以下文)：お着物に興味を持たれるようになったきっかけは何ですか？

三田村まつゑさん(以下三)：そうやねえ、衣紋の道に入ってから長い道のり、人生の物語ができるほどの思い出ばかり、聞いておくれるか？

文：はい、是非お聞きしたいです！

三：私ね、小ちゃいころは泣き虫で恥ずかしがりや、どの写真を見てもうつむいて指をくわえていたの。あだ名は「えんまさん」。えんまさんって「存じっこわい顔をして睨んでいる地獄の門番のえんま大王様。親戚や近所の人らに「百合ちゃんみたいにもつと三三三したらいいの」って言われていたの。百合子は私の妹で、姉の私がいもうのなんなんです、笑顔良しの器量良しの私は「えんまさん」。自分でも気にしていたのか顔を上げて人を見れない子どもになっていたんやね。その頃の写真はどの写真も指をくわえてめめついているの。

人を比べる「言葉の傷」に痛さを感じていたのかなあ、とそのことを思い出します。

そんな数えきれない思い出の中にきもの道を選んだ理由が：それは私が4、5歳の頃、母に着物を着せてもらって村祭りに行ったとき「今日のまっちゃん可愛い！」と逢う人逢う人に頭をなでてもらった記憶があるの。子どもながらに「着物を着ると可愛くなる！」と思いついたんやね。それから着物好きになった。着物が可愛いって言われていたのも知らな

いで(笑)。

そんな私はいつしかきもの道を選び、大勢の皆様が助けられ、泣いて笑って転んで起きていつの間にか八十歳。

現在にたどり着くまでの着物にまつわる苦労の始まりは「ここからです。

まずは美容師免許をとろうと、福井の美容学校へ行ったんですが、実は私は美容師免許を水戸で取ったんです。

文：わざわざ水戸へ！

三：どうして水戸かという、私の父はずっと京都で仕事をしていた、私も小さい頃から京都の撮影所によく遊びに連れて行ってもらっていたの。そこで見た水戸黄門が大好きになって、免許を取るなら水戸光圀公のお膝元に行こう！って決めて、美容学校はこつち(福井)で、試験だけはあつち(水戸)でとったの。関東へのあこがれもありました。

文：すごい！

三：きもの姿は日本独自の伝統文化。着物は美の魔術師。着物は人を中心の中まで変身させます。自然に出てくる美しい所作、優しい言葉、優しい表情などこれらすべてが「着物姿のもたらす最高の美」なの。美容師の道に、そして着付けに数えきれないほどの人と出会いがぎつしりと詰まっています。

大阪のテレビ局に着付けを教えてもらいに行つたこともありました。

文：着付けを教えてください！って行つたんですか？

三：大阪のテレビ局へ行つたら、社員食堂なら募集しているって言われたんです。社員食堂に行つても着付けを習うことはできない。けど、一応とにかく門をくぐらなと、と社員食堂に入つたの。調理師免許を丁度持っていたの。

文：巡り合わせがすごいですね！

三：私は衣装が習いたくて行つただけだね、それなら入りますって言ったの。

撮影所では主役の人には自分の部屋があつたの。そこでちょうど衣装が見える所があつて、しみじみと衣装に入りました。それは見事なものでしたね。

文：すごいですね。そういうところに遭遇出来たっていうのは。

三：そこで着付けの先生が「何に興味があるの？」って聞いてくれたんです。「着付けに興味があるんです」って言ったら、「そんなら僕、着付けを教えてあげようか」と武生まで指導に来てくださったんです。それで、着物好きな友人も集めて自宅で一緒に着付けを習うことにしたの。

着付けにまつわる資格もたくさん取りました。着物人形の資格、お茶、お花、時代衣裳の資格...

千年以上も続いている日本の着物には数知れないほどいろいろな分野があります。見る・聞く・触れるを同時に出来るその分野で活躍をされているプロ、専門の着付けの先生方との出会いは私に素晴らしい運をもたらしてくれました。

昔から人との出会いはいろいろな運を運んできてくれると言います。

日本時代衣裳学院長で、京都の葵祭衣紋監修者として日本の衣服文化を世界各国に伝承されている宮島健吉先生に長年師事し、ご縁があつて宮島先生のもと、京都御所葵祭に衣紋方として務めさせていただいたり、京都太秦で時代衣装に携わっておられる中川喜照先生、またテレビや舞台で着付け担当をされていた菅井博先生、大阪のテレビ局でメイク・かつらの権威者牧野巖先生というプロの世界で活躍していた方々に力をいただき、長年にわたり八十歳を過ぎた今もたくさんのお援を賜り現代に至っています。文化センターでショーをした時もその先生方が来て下さって一緒にステージも務めていただきました。

海外でのショーもしました。ブラジル、それから中国、オーストラリア、韓国。

中国では2時間番組で2日間テレビ放映されたの。演目は源氏物語だったんですが、それを全部お芝居と歌と踊りと衣裳で見せるの。海外ではなかなか日本の衣裳なんて見ることができないので、現地の方にとっても喜ばれました。

文：すごくパワフルに活動されていますね。

三：カレンダーの年齢を捨て、気持ちの年齢で、今まで以上に衣紋の道を皆様に伝えられるよう、越前市のいたるところで日本民族衣裳源流会会員たちと共に頑張ってます。

愉快な婆つちやま一座の公演に向けての様子が新聞記事に取り上げられました。



日本文化体験フェスの様子。(2021年1月17日 越前市文化センターにて)中央が三田村まつゑさん。

文：これからの目標は何ですか？

三：私は自分の今まで一生懸命歩んできた着物人生を、また素敵な出会いを、そして感謝をお笑いのお芝居にして皆さんに届けることですね。

人生には笑い以上の幸せはないと思います。健康長寿、健康長寿というけれど笑顔でないと健康長寿ではないと思ってるの。

天より授かった大好きな道を、いろんな場所として「今日のまっちゃん可愛い！」を思い出しつつ、身体は老化(笑)でも心は二十歳で皆さんのパワーをいただいでがんばります！歩みを止めずに歩いた私のきもの道、幸せをひしひしと感じています。

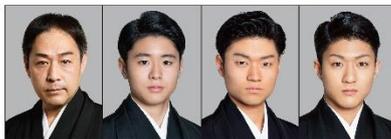
これからも素敵な衣裳と笑いで三田村さんの周りはみんなが健康長寿になりそうです。



令和四年度

製作 松竹

松竹歌舞伎舞踊公演



日時:2022年7月9日(土)14時開演

会場:越前市文化センター大ホール

入場料:一般7,000円 友の会6,500円 (全席指定席)

出演:中村芝翫、中村橋之助、中村福之助、中村歌之助、中村松江

越前市文化センターで3年ぶりの歌舞伎公演!

中村芝翫が素顔で登場し、各地の公演にご来場いただいた皆様にお目見得のご挨拶を申し上げます。客席と舞台が近しく感じられることでしょう。

そのほか演目は『操り三番叟』『連獅子』。みどころ多い作品をお楽しみください。

友の会先行販売:2022年5月22日(日)~

一般販売:2022年5月23日(月)~



♪♪ 今年の初夏は吹奏楽もオーケストラもどちらも見のがせない♪♪

吹奏楽でなつかしいポップスを

~New Sounds in BRASS 名曲コンサート~

日時:2022年6月5日(日)14時開演

会場:越前市文化センター大ホール

入場料:一般1,000円 友の会800円 高校生以下500円 (全席自由席)

音楽監督:篠田洋

指揮者:植田 薫 奥田健雄

ゲスト:白井淳夫(A.Sax) 武田幸夫(T.Sax) 友吉俊郎(A.Sax) 谷口浩和(Tp) 林 邦宏(Tb) 南部匡恵(CI)

お待たせしました!昨年、延期となった New Sounds in BRASS 名曲コンサートがようやく開催!

県内演奏家によるあの名曲、この名曲をたっぷりお楽しみ頂けます。客席も一緒にスウィングしちゃうはず♪

オーケストラ・アンサンブル金沢

ファミリーコンサート with 青島広志 越前公演

日時:2022年6月8日(水)18時開演

会場:越前市文化センター大ホール

入場料:一般2,000円 友の会1,800円 高校生以下500円 (全席自由席)

案内役:青島広志

指揮:碓山隆一郎 歌:小野勉

管弦楽:オーケストラ・アンサンブル金沢

共演:越前市文化センタージュニア合唱団こうのとり

オーケストラ・アンサンブル金沢の演奏と青島広志さん

の楽しいお話で音楽世界旅行へ Let's go!

ジュニア合唱団こうのとりも出演しますよ~

ご家族お揃いでお越してください。

まってるよ!



映画上映会

お終活 熟春!人生、百年時代の過ごし方



日時:2022年6月25日(土)10時~、14時~

(2回上映 上映時間 113分)

会場:越前市文化センター大ホール

入場料:一般1,000円 友の会800円 大学生以下500円 (全席自由席)

出演:橋爪功 高畑淳子 剛力彩芽ほか

熟年離婚寸前の夫婦が、葬儀社の男から紹介された終活フェアをきっかけに てんやわんやの大騒ぎ!

人生百年時代と言われる今、定年後に訪れる「熟年の青春=熟春(じゅくしゅん)」を明るく迎えるために人生整理に動き出す家族の騒動をコミカルに描いた「笑って」「泣けて」「役に立つ」ヒューマンコメディ映画を上映します。



しばらく練習ができず、みんなと一緒に歌うことができませんでした。4月から練習を再開することができました。

そこで大ニュース!!6月8日(水)のオーケストラ・アンサンブル金沢の公演にぼくたちも出演できることになりました!

歌うのは大好きなかことしさんの曲「未来への行進」と「なかまのうた」、それから「さんぽ」です。

今からドキドキですが、大好きな曲をオーケストラと一緒に歌えるので、練習がんばります! みなさんぜひ見に来てください。

いっしょにうたおっさー♪

越前市文化センタージュニア合唱団

こうのとり日記



※越前市文化センター事業の案内は、ホームページに掲載しています。

<http://www.jigyodan-city-echizen.jp/bunka>

※Bunvoya!掲載の全ての講座・催しについては越前市文化センターまでお問合せください。

<発行・編集>2022年5月 越前市文化センター 越前市高瀬2丁目3-3 TEL:0778-23-5057 FAX:0778-21-1975

Bunvoya!は越前和紙を使用しています